2016年11月4日

「南町田拠点創出まちづくりプロジェクト」に伴い、
グランベリーモールは、
2017年2月12日（日）に閉店します。

東京急行電鉄株式会社
株式会社東急モールズデベロップメント

東京急行電鉄株式会社（以下、東急電鉄）および株式会社東急モールズデベロップメントは、田園都市線南町田駅前のオープンモール型ショッピングセンター「グランベリーモール」を2017年2月12日（日）に一時閉店することを決定しました。

今回の一時閉店は、田園都市線「南町田駅」周辺地区の都市基盤、都市公園、商業施設、都市型住宅などを一体的に再整備することを目的に、東急電鉄と町田市が共同で推進する「南町田拠点創出まちづくりプロジェクト」の一環で、新しい商業施設（以下、新施設）の再開発に伴うものです。
新施設については、2019年度の開業を目指し、東急電鉄が推進していきます。

2000年4月に開業したグランベリーモールは、開業以来、毎年700万人以上のお客さまにご利用いただいています。これまでご愛顧いただいた多くのお客さまに感謝の気持ちを込め、クリスマスキャンペーンや新年の初売り、福袋セールなど、さまざまなイベントを企画・実施し、最後までお客さまに楽しんでいただける取り組みを続けていきます。

以　上

【グランベリーモール施設概要】

○名　　　称　グランベリーモール
（GRANDBERRY MALL）
○所　在　地　東京都町田市鶴間3－4－1
○交　　　通　東急田園都市線南町田駅 駅前
○営業面積　約33，412㎡
○店　舗　数　約100店舗
○駐　車　場　約1，400台（一部立体駐車場）
○開　業　日　2000年4月21日

グランベリーモールの外観

【参考】

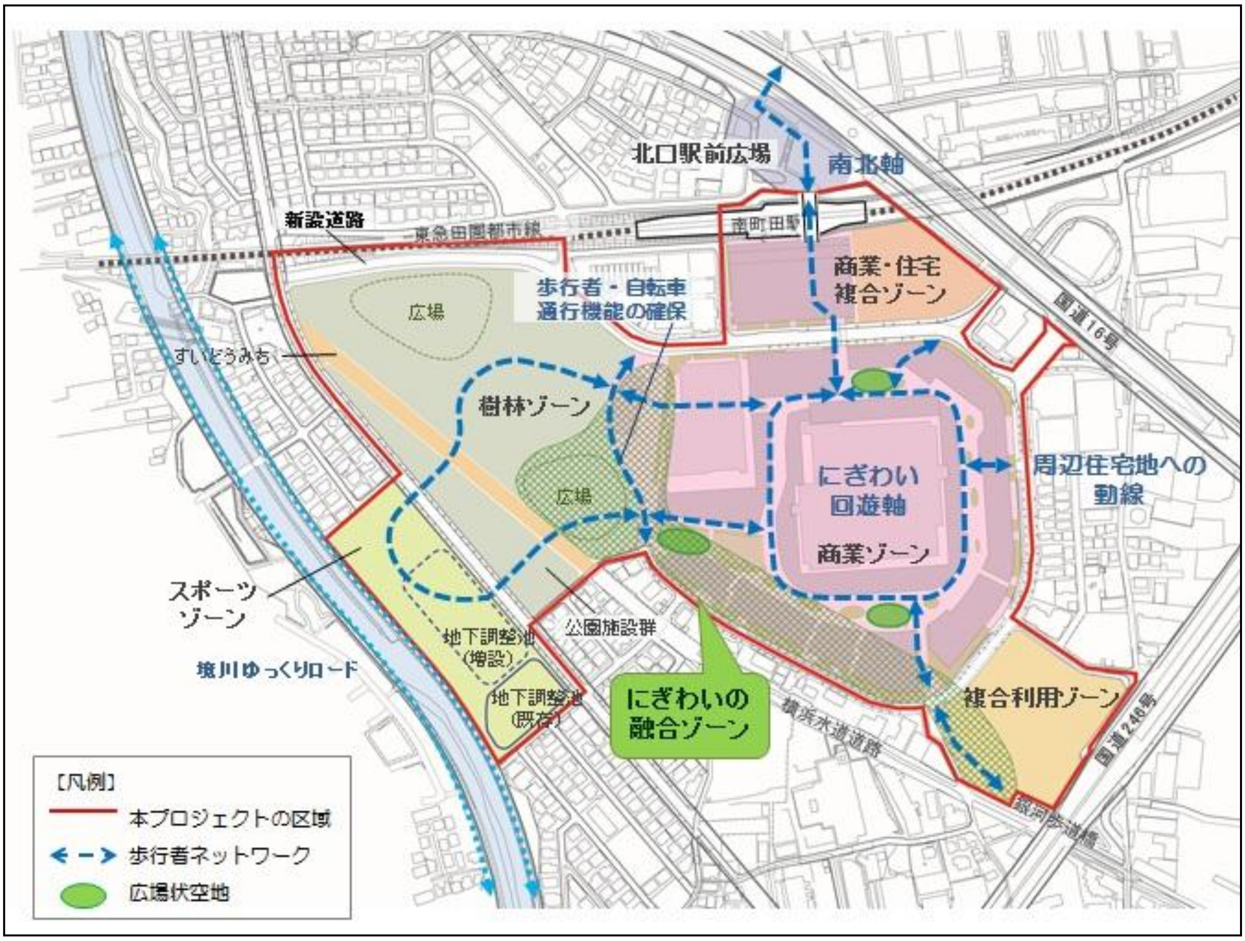
■「南町田拠点創出まちづくりプロジェクト」の概要

田園都市線「南町田駅」周辺に位置する、鶴間公園・鶴間第二スポーツ広場とグランベリーモールを中心とした地区において、町田市と東急電鉄が連携・共同で都市基盤、都市公園、商業施設、都市型住宅などを一体的に再整備し、郊外住宅地の魅力を再構築するための「新しい暮らしの拠点」を創り出していくプロジェクト。

鉄道駅近接に都市公園と商業施設が隣接するまちの資源を最大限に生かし、自然とにぎわいが融合した全国でも例のない魅力的な拠点空間として、新たなまちの魅力を創出する。あわせて、高齢化や人口減少の動向を見据えた中で、新たな住民の流入や地域の住み替えサイクルによる世代間の循環やバランスのとれた人口構成の維持、地域にお住まいの方々やまちを訪れる方々を交えた活発なにぎわいと交流により、良好な住宅市街地とコミュニティを次世代につなげていく持続可能なまちづくりを目指す。

また、地区内の道路の再配置と安全に安心して利用できる歩行者ネットワークの整備により、高齢者や子育て世代まで幅広い、地域住民・来訪者の皆様方の利便性を高めるとともに、境川の内水氾らん対策として雨水調整池を整備・拡充することで、地域の防災機能の強化も図る。

２０１６年２月の共同推進に関する協定の締結に伴い、土地区画整理事業、歩行者ネットワーク整備事業、鶴間公園・融合ゾーン魅力創出事業など、展開する各種事業の実施に向けて、計画検討や法定手続などが本格化しています。土地区画整理事業による都市基盤の整備に着手した後、鶴間公園やにぎわいの融合ゾーン、商業施設などの整備工事を並行して進めていき、２０１９年度のまち開きを目指す。



▲整備イメージ図

以　上